

1 国語に関する調査

【特長】

- 多くの児童が送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができている。文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けることや、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く力が身に付いている。
- 多くの児童が、目的を意識し、2つの文章から中心となる語や文を見付けて要約したものを選択することができる。

【課題】

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられる。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることは概ねできているが、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめたり、文章で表現したりすることに課題がみられる。

2 算数に関する調査

【特長】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めたり、二つの数量の関係に着目して、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いたりすることができる。
- 図形を構成する要素とその関係に着目し、正方形の意味や性質について理解している。

【課題】

- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断することは概ねできているが、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がみられる。
- 除法の筆算について、計算に関して成り立つ性質や図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がある児童が多いので、日常生活の場面を式に表したり、式を場面と関連付けて読み取ったりする学習を通して、式を用いて課題の解決ができるよう指導していく必要があると考える。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・国語、算数の学習を大切だと捉え、学習したことが将来社会に出たときに役立つと考えている児童が多い。また、学校で学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直して次の学習につなげたり、学んだことをほかの学習で生かしたりするなど、意欲的に学習と向き合っている。
- ・多くの児童が、普段の生活の中で幸せな気持ちになることがあると感じており、自分にはよいところがあると回答していることから、自己肯定感をもっていると考えられる。

【課題】

- ・殆どの児童が、学習の中でタブレット端末などのICT機器を使うことが学習に役立っていると考えているが、それらの機器を使っただけの学習機会は十分とは言えず、学校として有効かつ学習効果が上がる授業づくりに取り組んでいく必要がある。
- ・英語の学習が大切だと思っている児童が多い一方で、英語の学習自体が好きではないと感じている児童もいるので、興味・関心をもって学べる環境づくりに努めていく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・いじめの早期発見、早期解消のために定期的な学校生活アンケートを実施し、児童の実態調査を行っている。引き続き、個々の児童に寄り添いながら困り感や悩みを一人で抱えることなく、発信しやすい環境づくりに努める。
- ・教育活動全体を通して、他者と関わりながら協働することの楽しさや、お互いに認め合い励まし合いながら活動することの尊さを実感できような授業づくりに取り組んでいく。
- ・児童一人一人の特性を理解し、個に応じた支援・指導をしていくための手立てとして、教育相談コーディネーターを中心とする支援体制を確立する。
- ・計算や漢字の練習など基礎的基本的な学力の定着を図る学習に加え、思考力・判断力・表現力を育てる授業展開ができるよう工夫していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・児童が安心して学び、充実した学校生活を送ることができるよう、登下校の安全確保も含め、家庭・地域・学校が一体となり「共に子どもを育てていく」という視点で協力していきましょう。
- ・SNSやインターネットの正しい使い方について、また十分な睡眠時間の確保など、規則正しい生活習慣の大切さについて、ご家庭でも指導をお願いします。
- ・自分で課題を見付け、自主的に学習する習慣を身に付けることはとても大切ですので、ご家庭でも励ましの声かけをお願いします。